

大西脳神経外科にも新病棟

40床増へ来月着工

市内の脳疾患救急患者の6割を受け入れる大西脳神経外科病院も40床の配分を受け、6月に新病棟建設に着工する。1室

だった手術室も増やすことで、重篤な救急患者にも臨機応変に対応できる体制をつくる。

同病院は、脳神経外科単科の医療機関として2000年に82床で開院。専門常勤医9人(麻酔医1人を含む)の充実した体制で、11年の手術件数は01年比2・3倍、救急搬送受け入れ患者数は同2・8倍に増加した。

新病棟は7階建てで、現病棟南側に本年度末の完成を目標に建設する。

大西英之理事長は「脳卒中患者を受け入れるベッドは圏域で慢性的に不足している。救急患者が地元で医療を受けられる体制づくりに貢献したい」としている。

